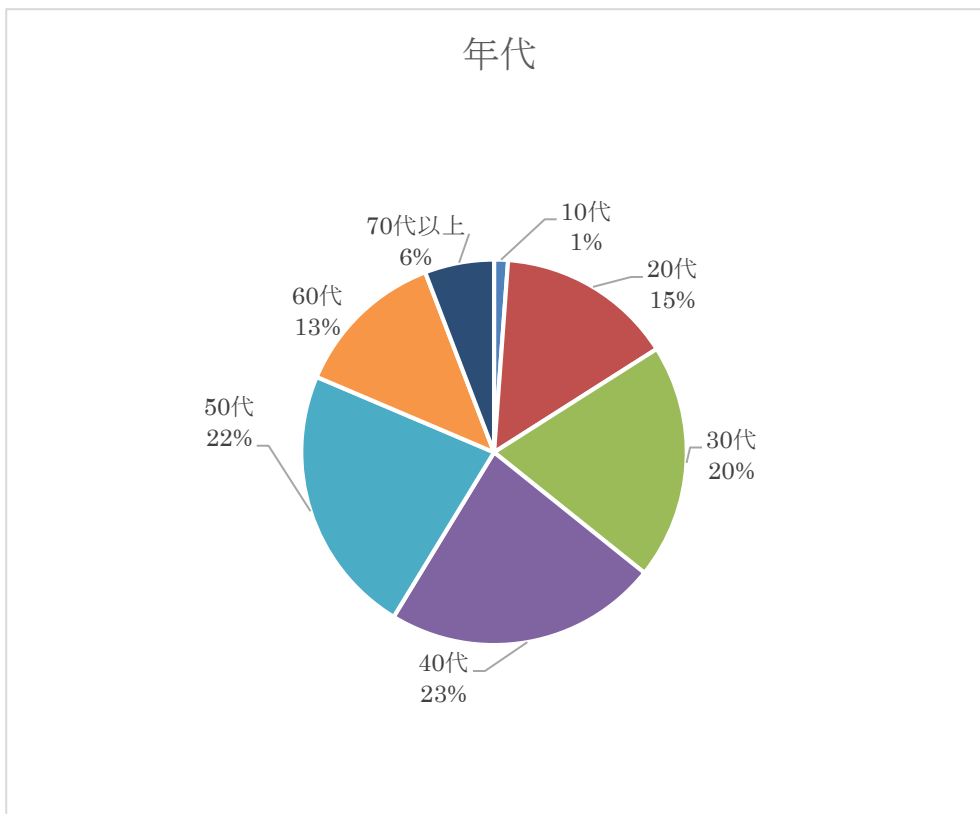
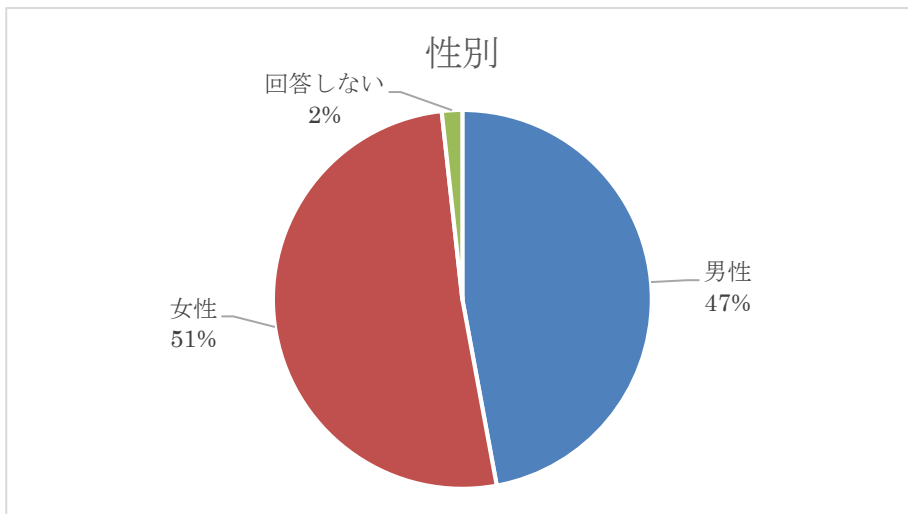


令和5年度 第3回 とよはしインターネットモニターアンケート調査結果

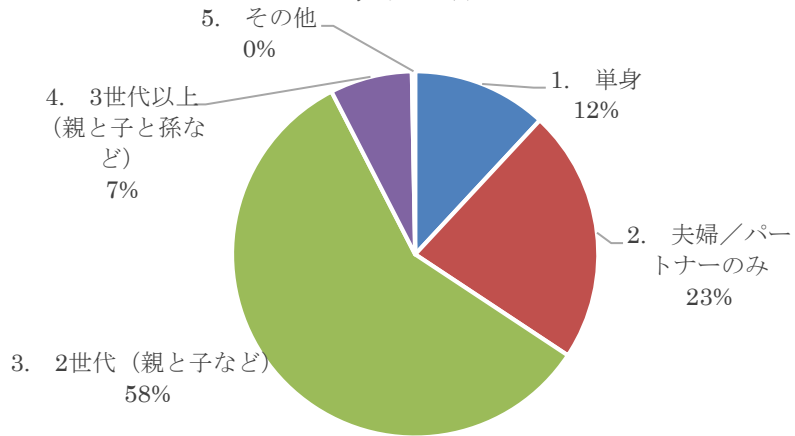
テーマ 「スマートインターチェンジ周辺における道の駅の整備に関するアンケート調査」
調査期間 令和5年10月23日（月）～令和5年11月6日（月）
回答者数 344人
対象モニター数 399人
回答率 86.2%

※ 百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、割合の合計が100%にならない場合があります。

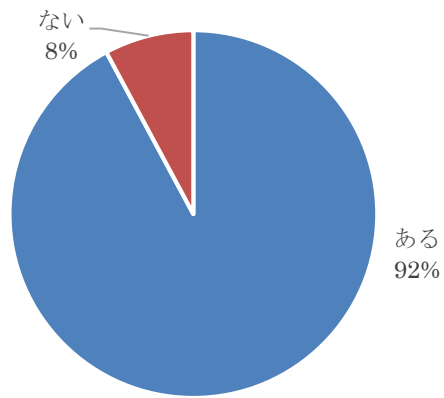
【属性】



家族構成



世帯での自動車保有状況



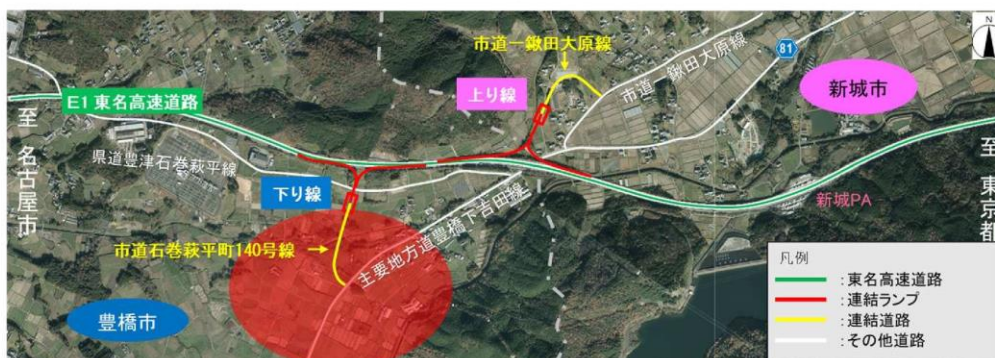
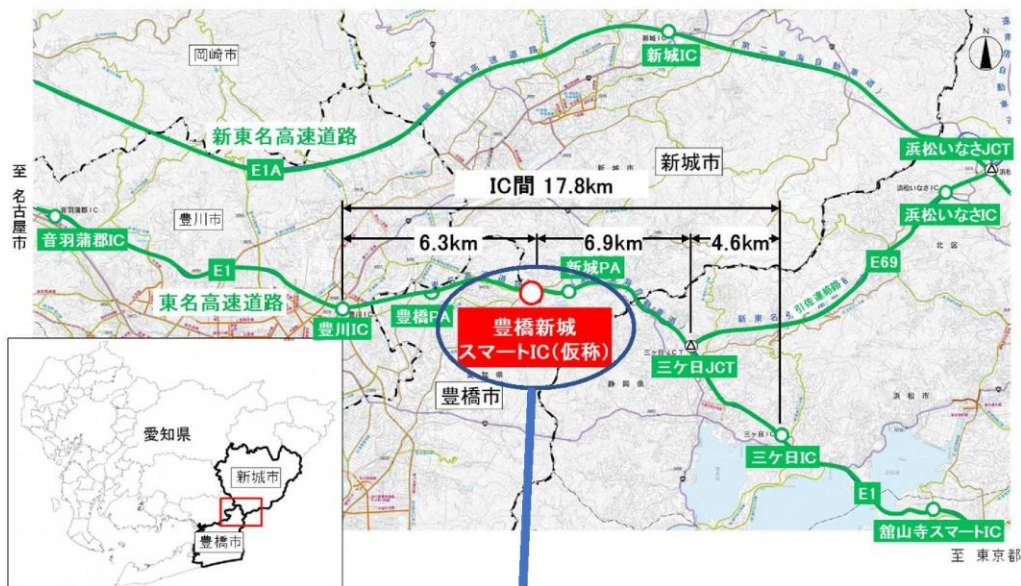
概要

豊橋市では、現在スマートインターチェンジ（ETC専用インターチェンジ）の整備を進めています。スマートインターチェンジの整備を契機として、人流・物流の増加や地域間交流の促進が期待できることから、このスマートインターチェンジ周辺地域において、道の駅の立地の可能性について調査しています。

この地域へのアクセス手段は、車による来訪を想定しており、豊川稲荷から車で15分、のんほいパーク（豊橋総合動植物公園）から車で30分、ラグーナ蒲郡から車で40分の位置にあります。

スマートインターチェンジの位置図

豊橋新城スマートIC（仮称）は東名高速道路の豊川ICと三ヶ日ICの間に位置しており、道の駅の検討箇所は下り線の豊橋方面出入口付近を想定しております。



道の駅検討地

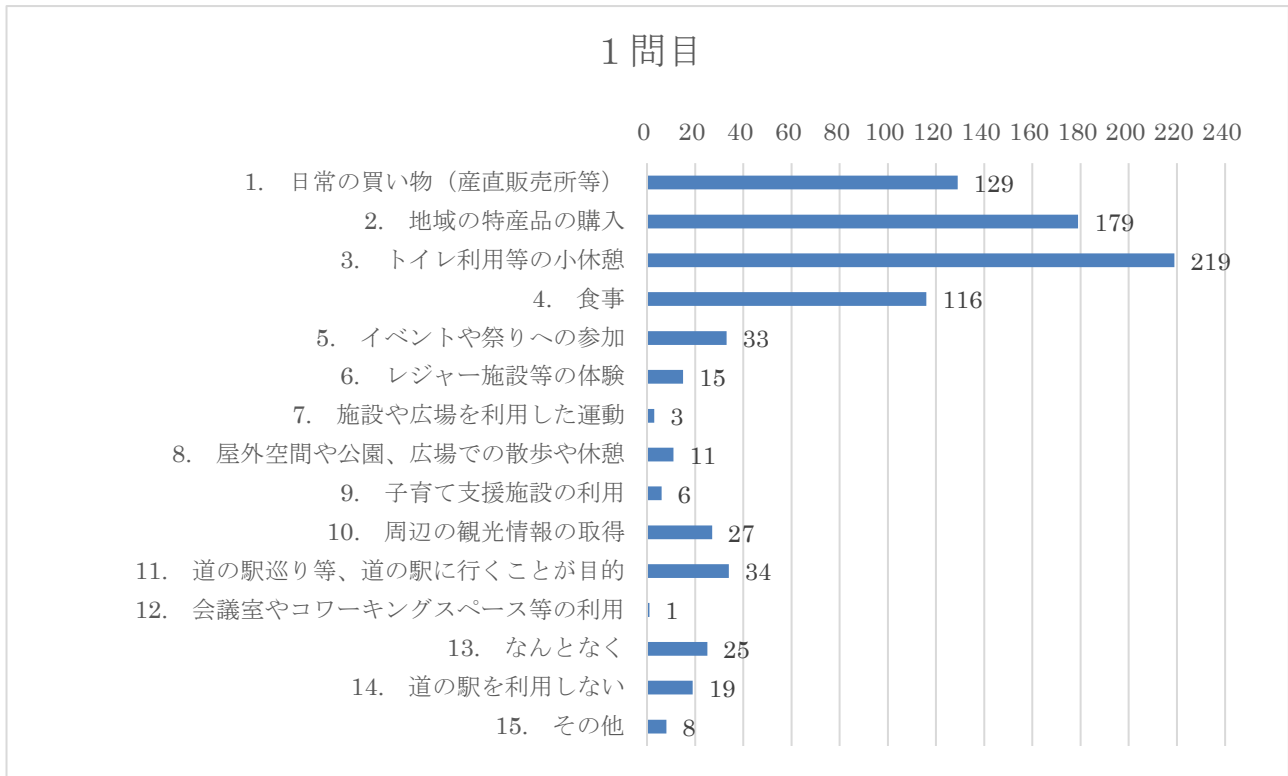
1. 道の駅へ訪れる目的について

道の駅へ訪れる目的として、回答者の3割以上が「トイレ利用等の小休憩」や「地域の特産品の購入」、「日常の買い物」、「食事」と回答しています。このことから、道の駅は運転手の休憩目的の利用をはじめ、買い物を目的とした施設にもなっていることがわかります。また、上記に次いで「道の駅巡り等、道の駅に行くことが目的」、「イベントや祭りへの参加」と答えた人が多く、道の駅自体が目的地になり得ることがわかります。

2. 施設の利用頻度について

「1か月に2回以上」、「1か月に1回程度」の頻度で行ってみたいという回答が多い施設は、多い順で「産直販売所」、「公園・広場」、「カフェ」となりました。このことから、数多くのリピーターが訪れる道の駅とするには、これら多い頻度で訪れる施設の導入について検討する必要があります。

設問 1. あなたが道の駅を利用される際は、どのような目的で訪れますか。
(主な目的を3つまで選択)

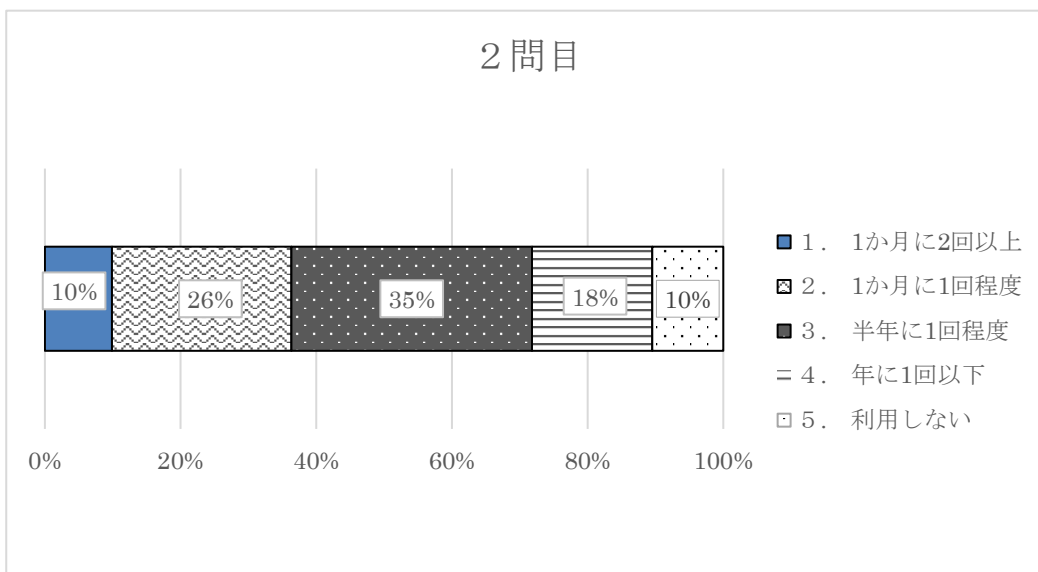


【設問 2】～【設問 16】 施設の利用頻度について

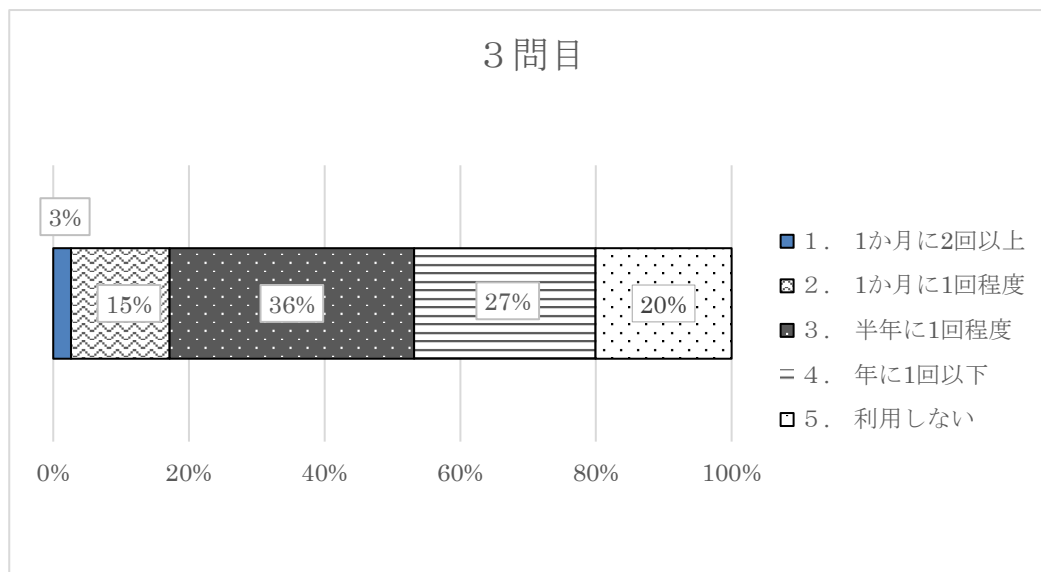
本地域で検討している道の駅に、次のA～Oの施設が出来た場合、それぞれの施設について、どのくらいの頻度で行ってみたいと思うかお答えください。

(それぞれあてはまるものを1つ選択) (n = 344)

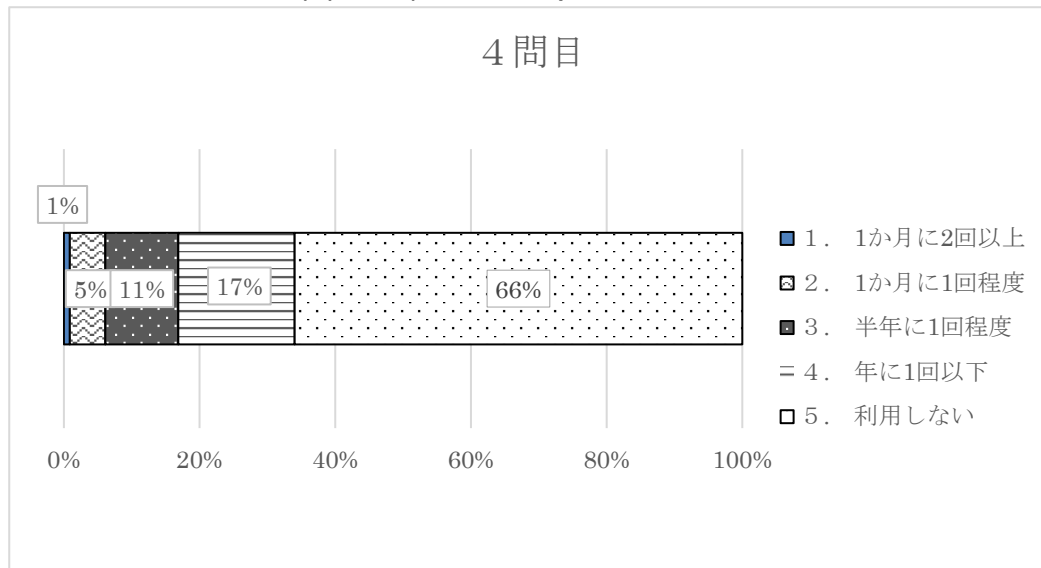
設問 2. A 産直販売所 (例: JAの農産物直売所)



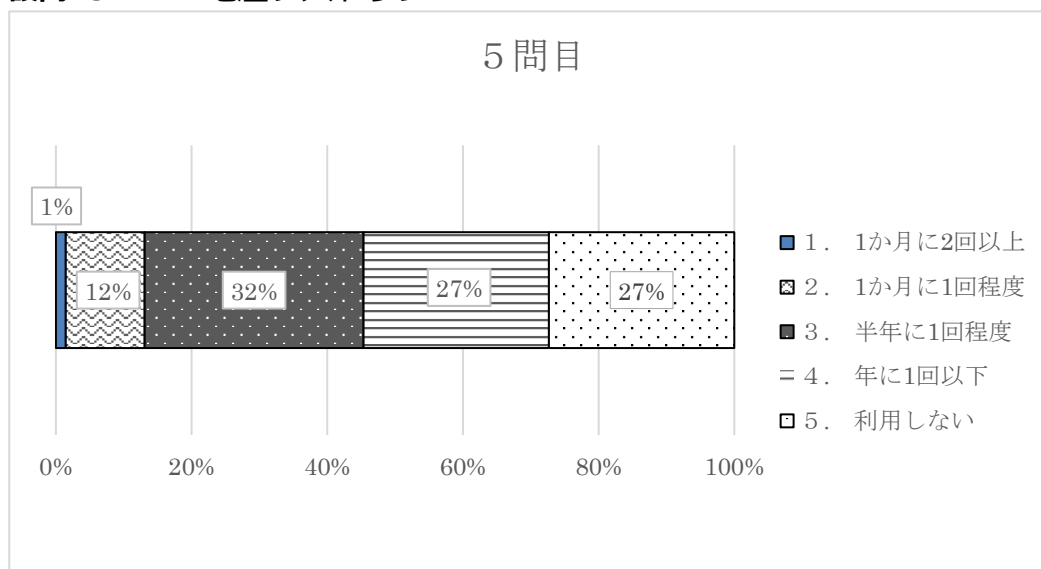
設問 3. B 土産販売所



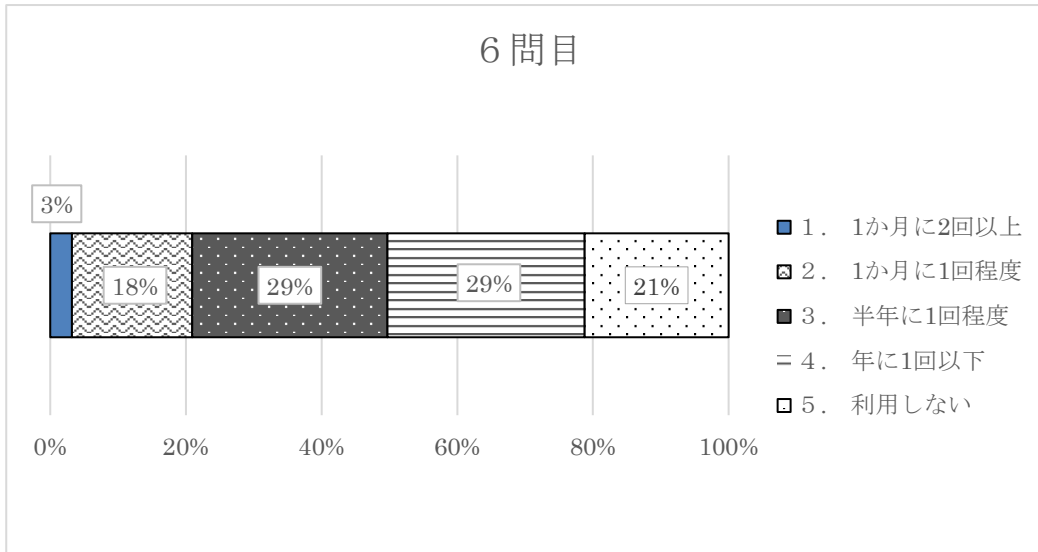
設問 4. C 市民農園（農業体験施設）



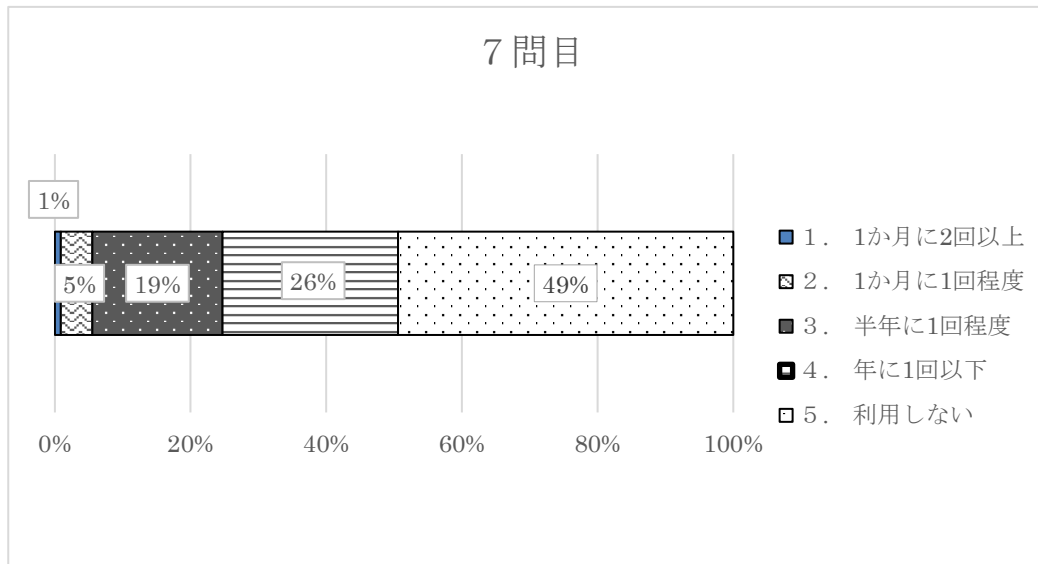
設問 5. D 地産レストラン



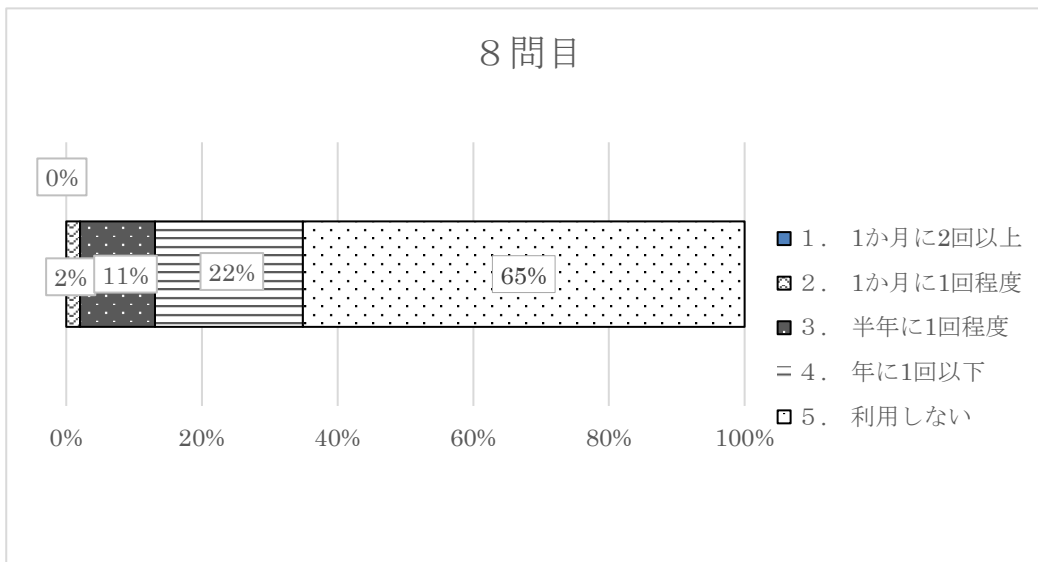
設問 6. E カフェ



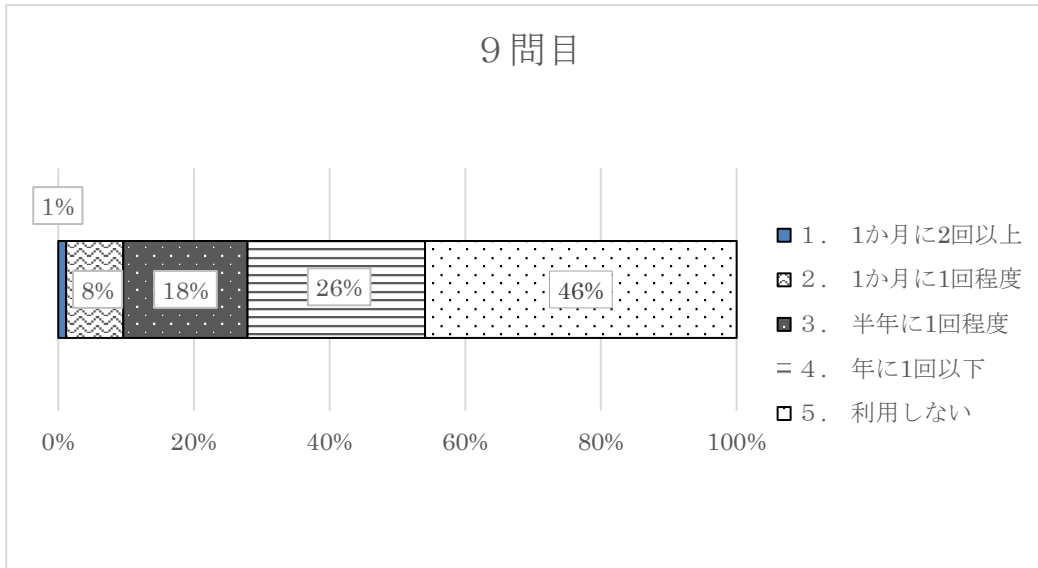
設問 7. F 観光農園（特産物の収穫等）



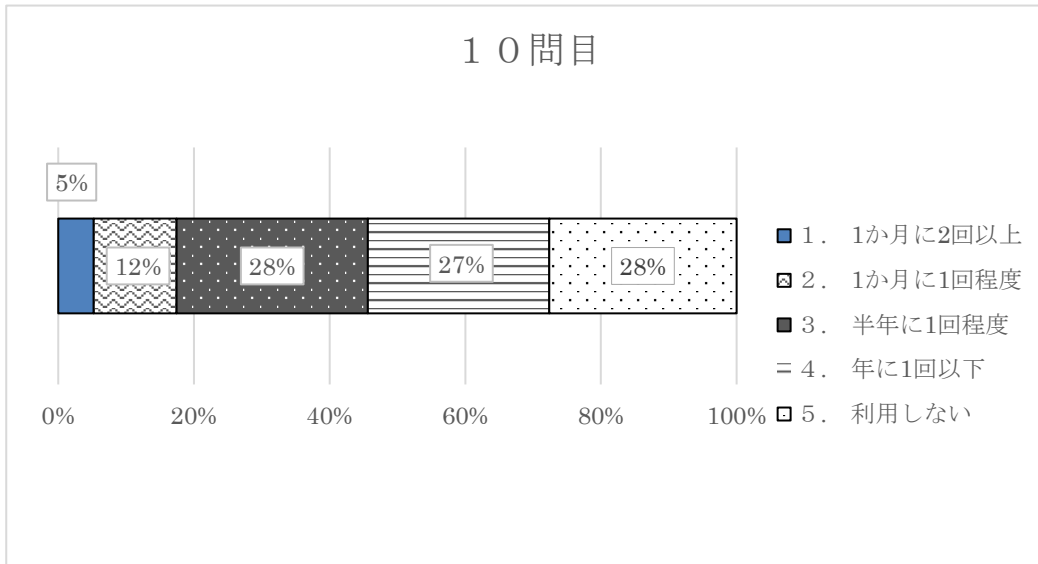
設問 8. G キャンプ場



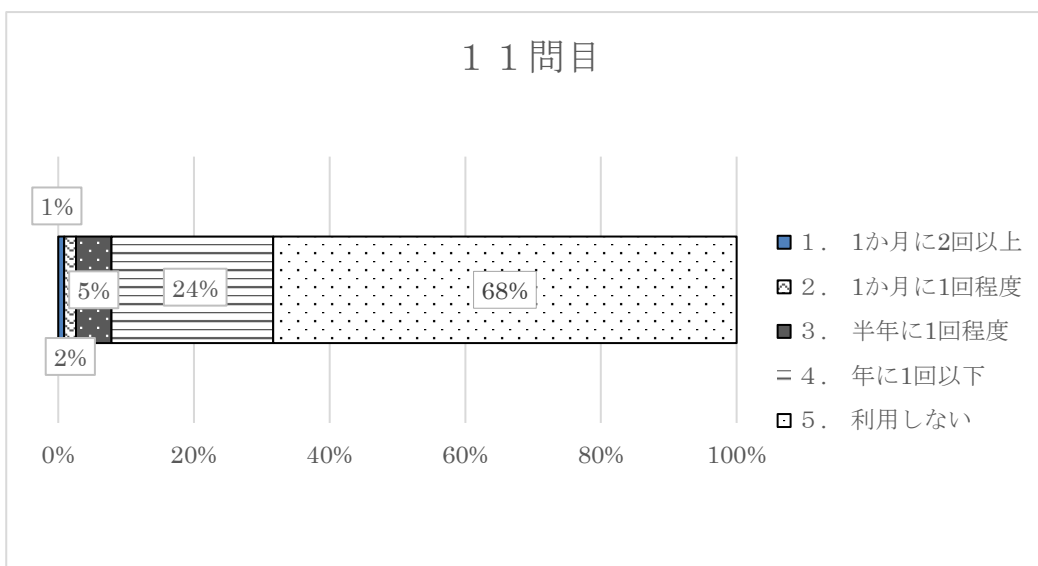
設問 9. H 動物ふれあい施設



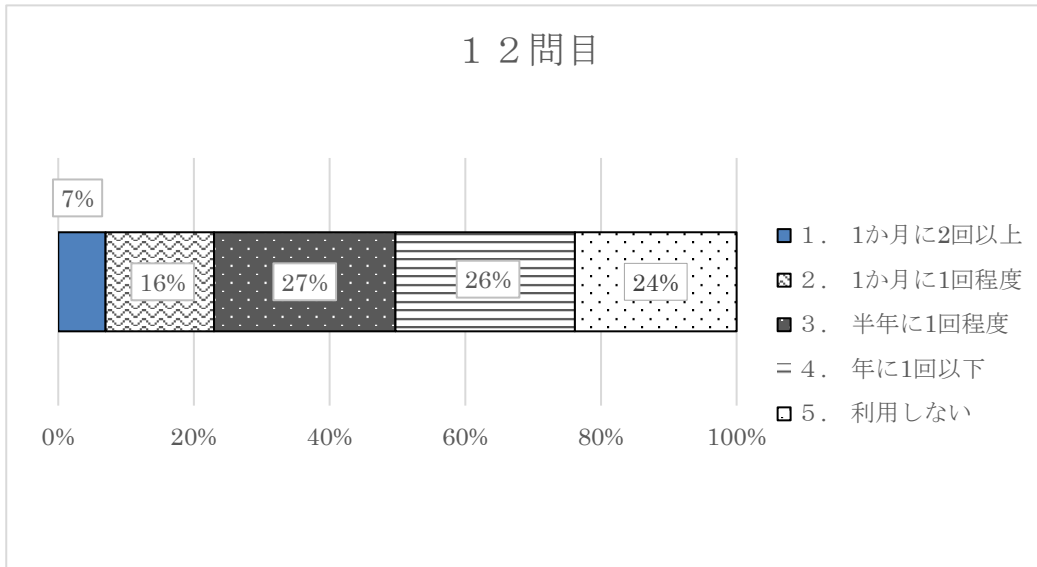
設問 10. I 温浴施設・サウナ施設



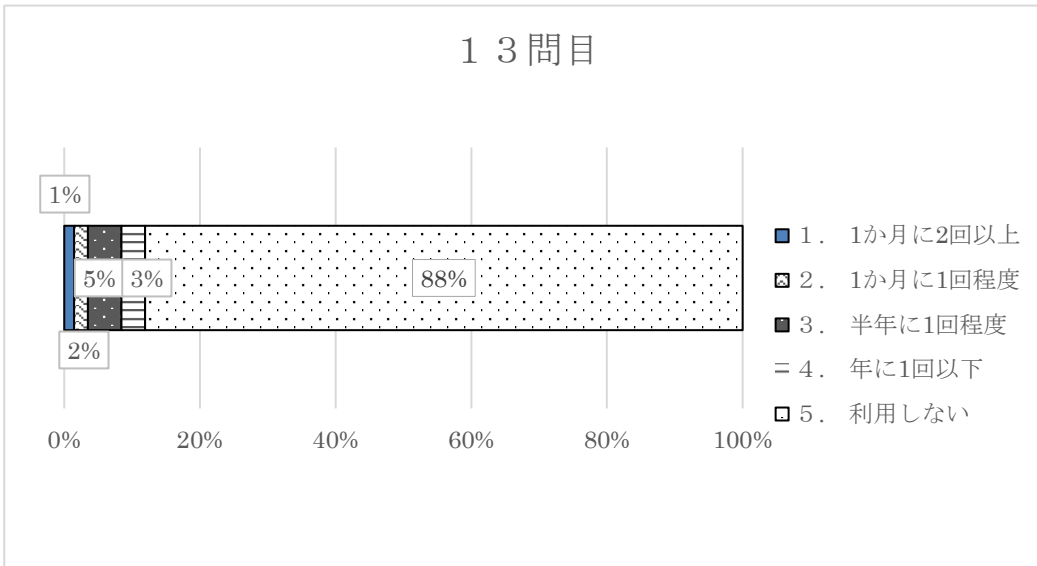
設問 11. J 簡易宿泊施設



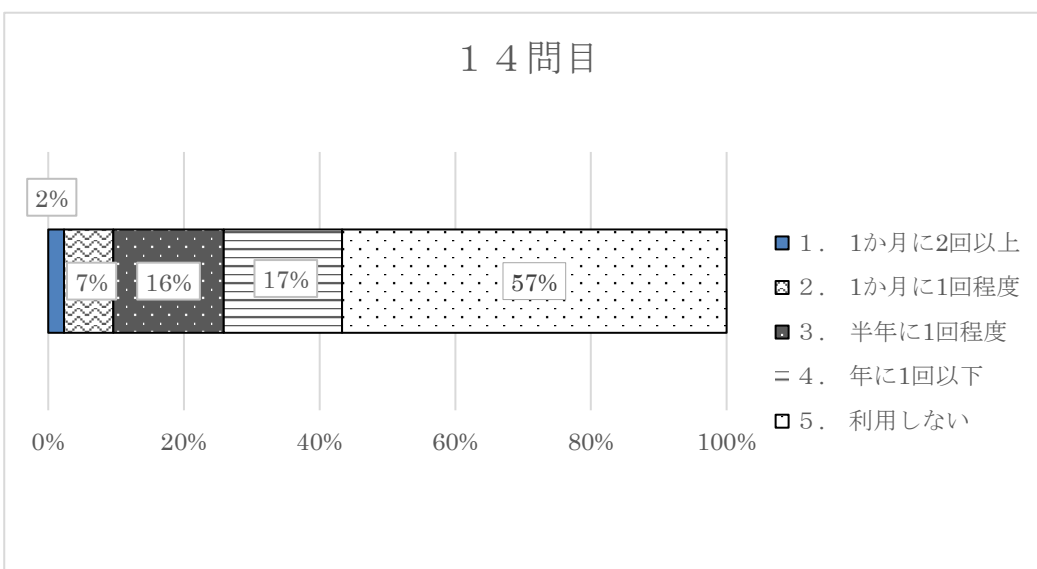
設問 12. K 公園・広場



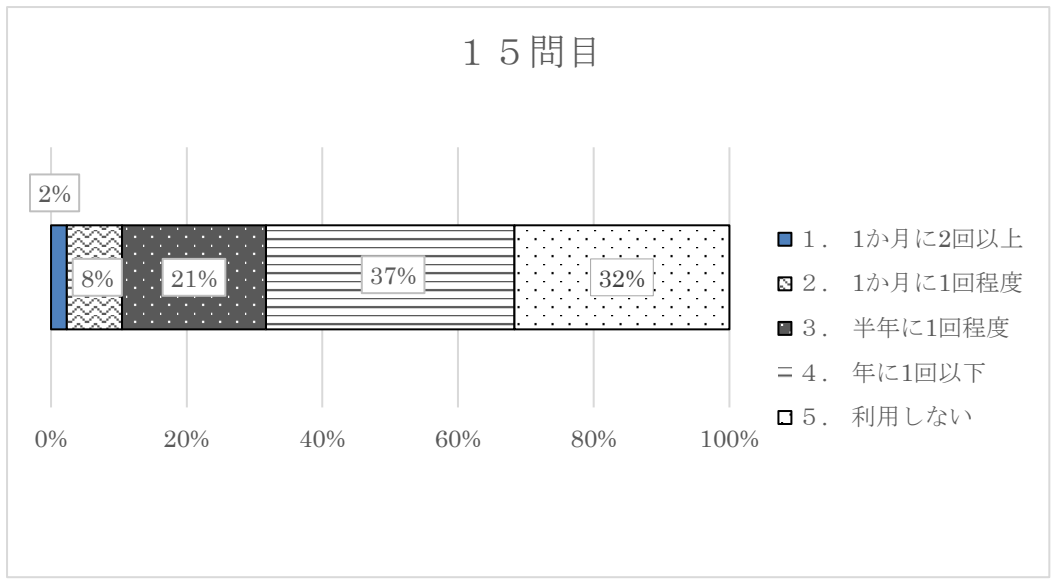
設問 13. L ドックラン



設問 14. M スポーツ広場・スポーツ施設



設問 15. N イベント（フェス等）が開催・参加できる広場



設問 16. O レンタル可能な多目的施設（例：会議室、コワーキングスペース）

